

志小安全・防災だより



R元. 5. 13 No.6
安全・防災担当:早坂 潤

お話の聞き方がしっかりできていた避難訓練でした！

8日に南三陸消防署の協力をいただき、地震想定での避難訓練が行われました。地震が発生し強い揺れを知らせる放送が入ると、子どもたちは素早く机の下に入り、机が動かないようにがっちりと脚を押さえ、次の避難指示を待つことができました。この後も慌てず、担任の先生の指示に従って素早く昇降口前に避難することができました。訓練後に、消防署の方が言われていたことは、子どもたちの話を聞く姿勢が素晴らしいことと、一人一人が訓練を真剣に受けていたことです。訓練後は、体育館で「くろしお少年消防クラブ」の結団式が行われ、1年生と転校してきた児童に「くろしお少年消防クラブ」の会員証が授与されました。その他、規律訓練（休め、気を付け、敬礼）や消防署の方から、大きな地震が発生した後に気を付けることを、過去に発生した明治大津波、昭和大津波、チリ沖地震津波の話や、そのときの八幡川の様子を例にプロジェクターで映しながら説明をしていただきました。海岸沿いで大きな地震が発生した時には次に津波が襲ってくる危険性があること、自分の身を守るために高いところに避難することをしっかり学びました。



おさない、はしらない、しゃべらない、もどらないの約束をしっかりと守って素早く避難することができました。



規律訓練では、休め、気を付け、敬礼の仕方を学び、消防署の方の号令に合わせて素早く行うことができました。



志津川出身の消防署の方より、南三陸町で発生した過去の津波災害についてお話をしていただきました。

3年生は白い煙の中を進む煙中体験を行いました！

3年生は、総合的な学習の防災とのつながりで行う、煙中体験をととても楽しみにしていたそうです。見ていて、消防署の方からの説明を聞くときの真剣さ、煙の中から出てきた後に他の友達を待っているときの態度、そして煙を吸わないように口を押さえるハンカチを全員準備がしっかりできていたところがすばしかったです。消防署の方より、火災が発生した時に煙は上にいくので体を低くし、害のある煙を吸わないようにすること、煙の中では、右手で壁等に触れながら危険でないことを確認して進むことを教えていただきました。

